



# 北海道大学博士課程DX教育プログラム

## 企画概要説明

2022年3月25日  
日本オラクル株式会社

ORACLE



**北海道大学**  
HOKKAIDO UNIVERSITY

- 博士課程の修了者のキャリアパス拡充
- デジタル・イノベーション人材育成

産官学による  
スマートシティ  
推進



**富良野市**

- スマートシティに向けた実証実験企画検討
- 地域の産業・住みよいまち作りの推進

**ORACLE**

- スマートシティ/DXの推進
- クラウドネイティブ技術の普及



# 2021年度北海道大学博士課程DX教育プログラム

## 博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援

### テーマ1 地域産業の発展

50年続く地域の名産であり、全国でも珍しい公営ワイナリー「ふらのワイン」の販売増



### テーマ2 カーボンニュートラルへの貢献

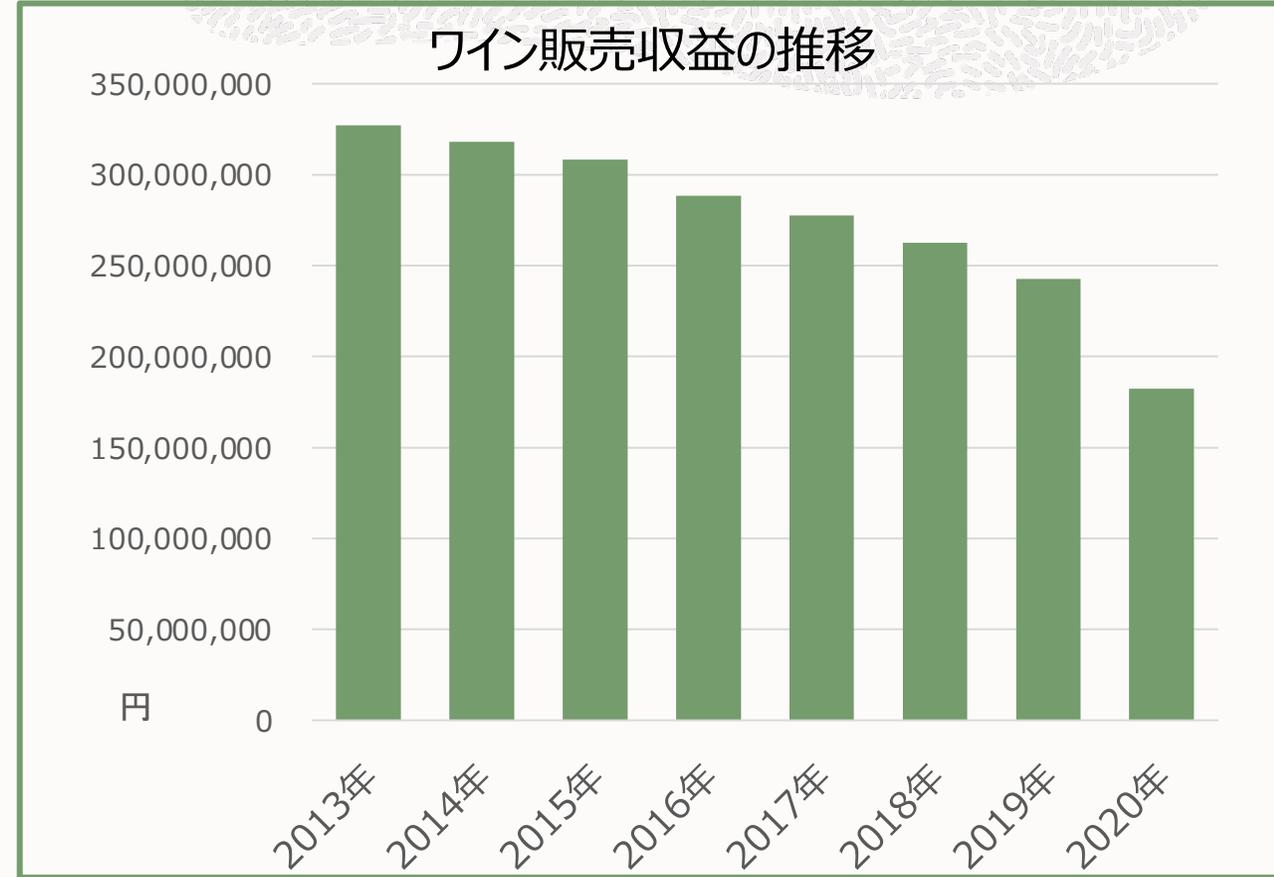
回収率90%を誇り、シビック・プライドでもある富良野市のリサイクル活動の維持・向上



# 2021年度 北海道大学博士課程DX教育プログラム

## テーマ1 「ふらのワイン販売増」

- 近年の**観光客の減少**や**COVID-19**の影響により販売本数は減少し厳しい経営状況
- 2022年度はふらのワイン**50年目**の節目の年
- **販売データを活用**し、富良野市をフィールドとして「デジタル×ワイン」により、ふらのワインの**販売促進に向けた施策**の提案が期待される。

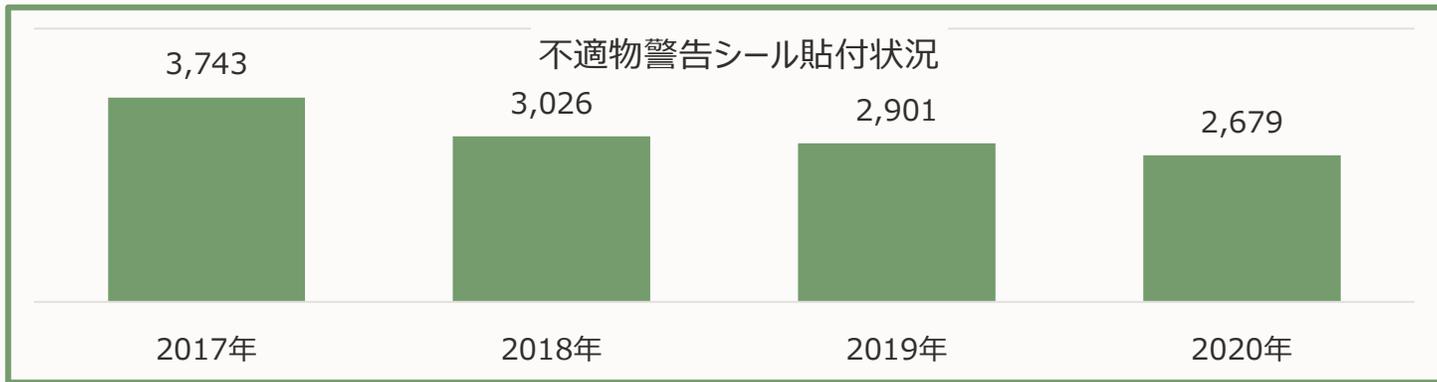
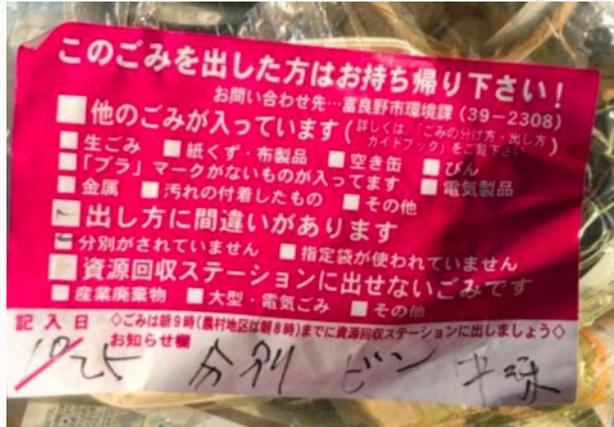


北海道大学への貸与データ  
「ふらのワイン・オンラインショップ販売データ（2年分）」

# 2021年度 北海道大学博士課程DX教育プログラム

## テーマ2 「リサイクル率の維持向上」

- 日々のごみ回収時に、**分別不良の袋**に貼付される不適物警告シールが一定数ある（通称「**だめシール**」）。
- シール貼付後や放置が続いた**事後に改善依頼**を出すのが一般的だった。
- 本授業ではシール発生記録データにを  
活  
用し、**新しい事前施策**により分別不良自  
体  
が減らすことが期待される



### 北海道大学への貸与データ 「ゴミステーション毎の、月別だめシール貼付数」

### ごみのリサイクル率90%を誇る環境都市 燃やさない・埋めないを基本理念として市民が14種別にごみを分別

1 プラスチック類  
2 固形燃料ごみ  
3 ペットボトル  
4 生ごみ  
5 空き缶  
6 空きびん・陶磁器・ガラス  
7 新聞紙・ダンボール類  
8 枝・草類  
9 乾電池・蛍光灯  
10 衛生用品  
11 灰  
12 動物死体  
13 大型ごみ・電気製品  
14 市が回収しないごみ

富良野市環境課 環境係へ  
お気軽にお電話ください ☎39-2308

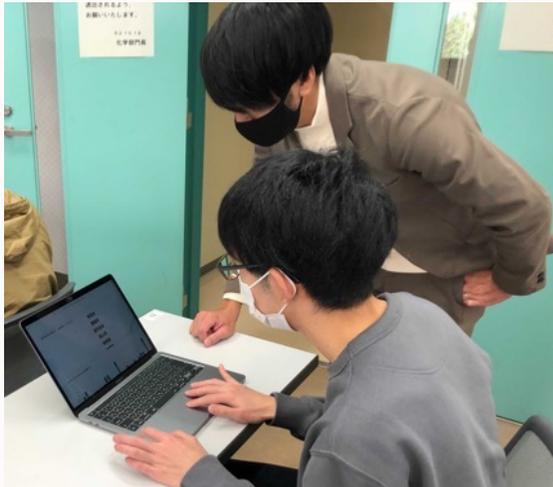


# 2021年度 北海道大学博士課程DX教育プログラム

## これまで学生が授業で学んできたことのサマリー

### データ活用

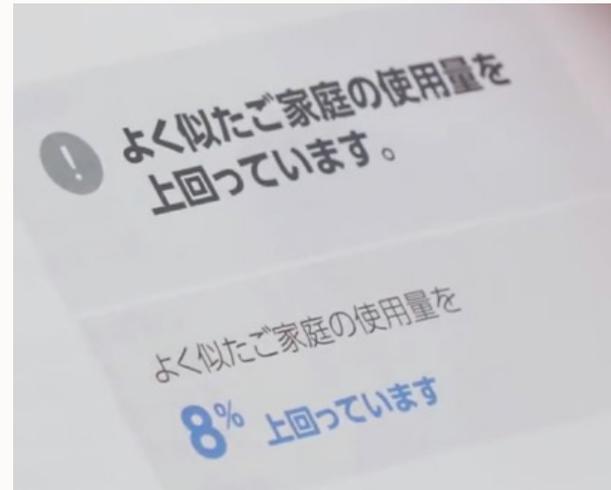
- 課題を理解しデータから**仮説**を立案
- **限られたデータ**であっても、工夫や想定を設けて有効活用し、まずはプロジェクトを進めてみる



授業の様子

### 行動変容

- DXの定義  
「デジタルの浸透が**人の生活を良い方向に変化**させる」
- 情報の**伝え方の工夫**により  
快適な行動変容を起こす



授業で扱った事例：消費電力削減に向けた伝え方(環境省様との実証実験)  
Oracle Utilities Home Energy Reports in Japan  
<https://youtu.be/cTsRmY4t-Ik>

### 自分ごと

- **現地現物を重視**し、ヒアリング・視察を通じて、仮説検証しブラッシュアップ
- 「**自分ならこう思う**、こう行動を変えるかもしれない」、という、自分の意見に基づいた提案



富良野市内のゴミステーションを視察する学生

ORACLE